

平成 2 3 年第 6 回
上小阿仁村議会定例会
会 議 録

平成 2 3 年 9 月 2 日 (開会)

平成 2 3 年 9 月 1 4 日 (閉会)

平成 23 年第 6 回上小阿仁村議会定例会会議録（第 1 号）

○招集（開会） 年月日 平成 23 年 9 月 2 日

○招 集 場 所 上小阿仁村議会議場

○開 議 年 月 日（時間） 平成 23 年 9 月 2 日（13 時 00 分）

○出 席 議 員

1 番	小 林	信 君	2 番	長 井	直 人 君
3 番	齊 藤	鉄 子 君	4 番	佐 藤	真 二 君
5 番	萩 野	芳 紀 君	6 番	北 林	義 高 君
7 番	伊 藤	敏 夫 君	8 番	武 石	善 治 君

○欠 席 議 員 な し

○地方自治法第 1 2 1 条の規定により説明のため、会議に出席した者の職氏名

村	長	中 田	吉 穂		
副	村	長	加賀谷	敏 明	
総	務	課	長	萩 野	謙 一
住 民	福 祉	課	長	小 林	悦 次
産 業	課	長	中 嶋	辰 雄	
建 設	課	長	小 林	隆	
特別養護老人ホーム施設	長	鈴 木	壽美子		
主幹兼診療所事務	長	鈴 木	義 廣		
代 表 監 査 委 員		齊 藤	登		
教 育	長	出 川	幸 三		
教育委員会事務局	長	田 中	文 隆		

○本会議に職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	伊藤秀明
議 会 書 記	小林京子

○村長提出議案の題目 別紙のとおり

○議員提出議案の題目 な し

○議 事 日 程

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 行政報告
- 第 4 一般質問
- 第 5 議案第 1 号 平成 22 年度上小阿仁村一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第 6 議案第 2 号 平成 22 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 7 議案第 3 号 平成 22 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 8 議案第 4 号 平成 22 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 9 議案第 5 号 平成 22 年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 10 議案第 6 号 平成 22 年度上小阿仁村老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 11 議案第 7 号 平成 22 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 12 議案第 8 号 平成 22 年度上小阿仁村下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 13 議案第 9 号 平成 22 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 14 議案第 10 号 平成 22 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 15 議案第 11 号 平成 23 年度上小阿仁村一般会計補正予算について
- 第 16 議案第 12 号 平成 23 年度上小阿仁村国民健康保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 17 議案第 13 号 平成 23 年度上小阿仁村国民健康保険診療施設勘定特別会計補正予算について
- 第 18 議案第 14 号 平成 23 年度上小阿仁村特別養護施設特別会計補正予算について
- 第 19 議案第 15 号 平成 23 年度上小阿仁村簡易水道事業特別会計補正予算について
- 第 20 議案第 16 号 平成 23 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計補正予算について

- 第 21 議案第 17 号 平成 23 年度上小阿仁村下水道事業特別会計補正予算について
- 第 22 議案第 18 号 平成 23 年度上小阿仁村介護保険事業勘定特別会計補正予算について
- 第 23 議案第 19 号 平成 23 年度上小阿仁村後期高齢者医療特別会計補正予算について
- 第 24 議案第 20 号 平成 23 年度上小阿仁村農業集落排水事業特別会計への繰入れについて
- 第 25 議案第 21 号 平成 23 年度上小阿仁村下水道事業特別会計への繰入れについて
- 第 26 認定第 1 号 平成 22 年度北秋田市上小阿仁村病院組合事業会計歳入歳出決算の認定について
- 第 27 陳 情

○本日の会議に付した事件
議事日程に同じ

○会議録署名議員の氏名

7 番 伊 藤 敏 夫 君

1 番 小 林 信 君

13 時 00 分 開会

○議長（武石善治） ただいまの出席議員は、8 名であります。

定足数に達しておりますので、これより平成 23 年第 6 回上小阿仁村議会定例会を開会いたします。

直ちに本日の会議を開きます。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配布したとおりであります。

諸般の報告

○議長（武石善治） 日程に入る前に諸般の報告を行います。

この件につきましては、議員各位のお手元に文書を配布しておりますので、これにて諸般の報告といたします。

日程第 1 会議録署名議員の指名

○議長（武石善治） 日程第 1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、会議規則第 119 条の規定により議長において、7 番 伊

藤敏夫君、1番 小林信君を指名いたします。

日程第2 会期の決定

○議長（武石善治） 日程第2 会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。本定例会の会期は、本日から9月14日までの13日間といたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（武石善治） 異議なしと認めます。よって、会期は13日間と決定いたしました。

説明員の通告

○議長（武石善治） 説明員の通告がありますので、報告いたします。

副村長、加賀谷敏明君。総務課長、萩野謙一君。住民福祉課長、小林悦次君。産業課長、中嶋辰雄君。建設課長、小林隆君。特別養護老人ホーム施設長、鈴木壽美子君。主幹兼診療所事務長、鈴木義廣君。代表監査委員、齊藤登君。教育長、出川幸三君。教育委員会主幹兼事務局長、田中文隆君。

日程第3 行政報告

○議長（武石善治） 日程第3 村長より、行政報告についての発言を求められておりますので、これを許します。村長。

（中田吉穂村長 登壇）

○村長（中田吉穂） それでは行政報告を行います。

まず、最初に総務課関係。

平成22年度決算について

平成22年度各会計の決算は、一般会計では3,987万8,000円、繰越明許費繰越財源3,508万8,000円、事故繰越額118万1,000円を除く黒字決算となりました。

また、特別会計では、9会計いずれも黒字決算で、総額3,314万8,000円の繰越額となりました。

各会計の歳入歳出決算は、次のとおりです。

会計名、歳入決算額、歳出決算額、差引残額、繰越財源、実質収支額の順で読み上げます。

一般会計、32億1,142万2,000円、31億3,527万5,000円、7,614万7,000円、3,626万9,000円、3,987万8,000円。

特別会計、15億5,645万9,000円、15億2,331万1,000円、3,314万8,000円、0、3,314万8,000円。

国民健康保険事業、3億9,518万2,000円、3億9,469万9,000円、48万3,000円、0、48万3,000円。

国保診療所施設、1億4,879万円、1億3,528万4,000円、1,350万6,000円、0、1,350万6,000円。

特別養護施設、3億9,015万3,000円、3億8,042万3,000円、973万円、0、973万円。

簡易水道事業、7,617万5,000円、7,456万8,000円、160万7,000円、0、160万7,000円。

老人保健、6万6,000円、6万6,000円、0、0、0。

農業集落排水事業、7,140万1,000円、7,090万3,000円、49万8,000円、0、49万8,000円。

下水道事業、5,803万2,000円、5,748万3,000円、54万9,000円、0、54万9,000円。

介護保険事業、3億7,811万4,000円、3億7,141万5,000円、669万9,000円、0、669万9,000円。

後期高齢者医療、3,854万6,000円、3,847万円、7万6,000円、0、7万6,000円。

合計の歳入決算額47億6,788万1,000円、歳出決算額46億5,858万6,000円、差引残額1億929万5,000円、繰越財源3,626万9,000円、実質収支額7,302万6,000円。

次に、平成23年度補正予算について、申し上げます。

平成23年度一般会計補正予算は、財政調整基金積立金など総額3,725万7,000円の追加補正で、補正後の総額は23億3,996万3,000円となります。

内訳は、財政調整積立基金2,000万円。発電機等購入費435万7,000円。子宝祝金115万円。国民健康保険診療施設勘定特別会計繰出金757万円。河川改修工事（長信田川堆積土砂除去工事）517万3,000円。住宅リホーム緊急支援事業補助金100万円。市町村総合事務組合負担金（非常勤消防団員等公務災害）273万6,000円。

表の方は略させていただきます。

3 ふるさと納税寄付金について、ふるさと納税に伴う寄付金は、本年度7月末現在、8名で総額36万5,000円となっております。内訳は、次のとおりです。ご覧になっていただきます。なお、平成20年度からの総額では317万7,000円のご寄附をいただいております。ご寄附をいただきました方々に対し、心からお礼を申し上げますとともに、この貴重な支援を大切に活用してまいります。

4 い樹い樹むらづくり活動補助金について、今年度から創設された住民自

らの創意工夫と実践による地域づくり等を目的とした「い樹い樹むらづくり活動補助金」は、当初予算で300万円の補助金を計上いたしていますが、7月末現在の申請状況は次のとおりです。

集落賑わい活動、申請件数9件、採択9件で事業費が56万3,000円、村補助金が26万1,500円。

集落環境づくり活動6件、6件の採択、事業費が53万200円、村補助金24万2,100円。

集落文化活動、申請件数1件、これは不採択となっております。

その他、むら再発見活動、い樹い樹イベント活動については申請がございませんでした。合計で、申請件数が16件、採択件数が15件、事業費が109万3,200円、村補助金が50万3,600円となっております。

次に5 防犯灯、街路灯の設置について、村で補助金を交付している集落設置の防犯灯、街路灯については、今年度、5集落8箇所の要望が出されておりましたが、部品交換のみの1箇所を除き、LED灯での新設、改修を行う予定です。

LED灯で新設、改修をした場合、補助率を3年間に限り70%から80%に引き上げたことによる補助金の増額分14万5,000円を予算計上しておりますので、よろしく願いをいたします。

今後も節電、環境対策の面から、公共施設等へのLED灯の設置を進めてまいります。

6 市町村有償運送等について、八郎潟駅と上小阿仁村間の有償運送事業の4月から7月末までの利用状況は339回運行し、利用者は70名でした。昨年の同時期333回、55名。また、大館能代空港、秋田内陸線へのデマンド型乗合タクシーの4月から7月末までの利用状況は、大館能代空港は9回運行し、利用者は9名。昨年度の同時期7回、8名。秋田内陸線は1回運行し、利用者は1名、昨年度の同時期2回、2名でした。

7 おらがふるさとフェスティバルについて、8月14日にお盆恒例の「第23回おらがふるさとフェスティバル」を開催いたしました。午後2時からの「ちびっこ魚つかみ大会」、午後5時30分から、ふるさと公園で行われたイベントとも、天候に恵まれ、帰省客や多くの村民が参加いたしました。

ご協力いただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。

次に住民福祉課関係について申し上げます。

1 敬老会について、平成23年度の敬老会を9月16日に健康増進トレーニングセンターで挙行する予定です。

対象者は75歳以上の方で、男性295名、女性521名で、計816名です。なお、90歳以上の方が78名、その内100歳以上が3名と、大変おめでたいことです。

また、今回、金婚を迎えられましたご夫婦は19組となっております。多年にわたり社会貢献され、村の発展に寄与された皆様のご長寿を衷心よりお祝い申し上げますとともに、議員各位におかれましてもぜひご出席をしていただき、ご長寿をお祝いいただきますようお願いをいたします。

2 北秋田市周辺衛生施設組合について、7月20日、北秋田市周辺衛生施設組合議会が開催されました。空席となっております組合の議長に齊藤鉄子さんが選任されました

22年度決算については、搬入量が21年度と比較して1.23%減となり、1日平均処理量は87.4kLとなっております。なお、3月の東日本大震災につきましては、施設組合自体に損傷はありませんでした。ただ、物流の停滞により、一部薬品及びA重油の納入が大変となりました。これも5月後半からは正常な状態に戻っております。

予算については、22年度からの繰越金が1,537万5,000円となっております、燃料費の高騰に伴う対応、凝集槽の補修及び基金積立金の補正を行っております。

3 公立米内沢病院について、平成23年3月31日で解散したことに伴い、平成22年度の決算の認定について議案を上程しておりますので、よろしくご審議のほどお願いいたします。なお、解散後に生じた訴訟にかかる経費及び不測の経費については、北秋田市と協議をして予算補正をすることになっております。

4 北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合について、8月5日に北秋田市上小阿仁村生活環境施設組合議会が開催されました。22年度決算については、歳入総額2億2,163万円、歳出総額1億9,507万円で、2,656万円の繰越が出ております。

火葬場の除雪ローダの修繕費に34万円、残りを基金積立するものとなっております。

5 消防防災について、7月24日、秋田県消防協会大館北秋田支部消防訓練大会が北秋田市阿仁地区で開催され、小型ポンプ操法の部で4位となり、総合7位の成績でありました。

8月12日午前1時10分に福館で火災が発生し、午前1時50分に鎮火しました。住家1棟、非住家1棟が全焼。住家1棟、非住家3棟が部分焼で、全部で6棟が被害を受けました。

消防署への通報について、110番に電話していることで出動が遅れていることが報告されております。火事の際には119番への電話を、今後徹底するよう周知したいと思います。

6 子宝祝い金について、少子化対策として、秋田県市町村少子化対策包括交付金を活用して、子宝祝い金を贈呈しております。

4月7日、8月4日に第1子、5月15日に第2子、6月7日、6月10日に第4子の方々に、それぞれ5万円、50万円、200万円を贈呈しております。

今後の出産予定もあり、子宝祝い金の補正予算をしておりますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

7 訪問看護サテライトについて、旧沖田面保育園の一角を無償貸与して、訪問看護サテライトの設置をするための契約を、平成23年7月1日付けで、株式会社エヌ・エス クラフトと締結しております。無償貸与する建物については、屋根の塗装及び内部改修を実施し、8月12日に完成をしております。

産業課関係

1 稲作状況について、秋田県農林水産部は、7月22日に水稻生育状況を発表しております。あきたこまちは、北秋田地区（9調査地点）において、草丈75cm（平年比101%）、m²当たりの茎数553本（平年比107%）となっております。なお、水管理、穂いもち防除、斑点カメムシ類防除等についても指導しており、カメムシ類の防除は、カメムシ類を水田に追い込まないため、稲の収穫の2週間前まで草刈りを制限しています。

2 県産農畜産物安全性確保緊急対策事業に対する嵩上げ補助について。

農協が行う農畜産物等の放射性物質調査（簡易検査）に対し、その経費の2分の1を県が補助する事業で、補助の残額に対して2分の1を農協へ補助するものです。これについての関係予算を計上しておりますので、よろしく願いをいたします。

3 中山間地域総合整備事業について、今年度の事業要望額2,000万円に対して、県から200万円減額する1,800万円の割り当て内示がありました。今後、追加割り当ても考えられますが、今年度は水路工の3路線を実施します。

4 物産センターの改修工事について、国のきめ細かな交付金を活用して行う物産センターの改修工事は、工種毎に分離発注しております。

直売グループ等の販売コーナーの新設、村内で作られたお菓子の販売コーナーの拡充や生鮮食品も扱うことにより、道の駅の利用者はもとより地域の方々にも、今まで以上に利用していただける施設にしたいと考えております。

5 土産沢の皆伐事業について、土産沢の皆伐事業については、今年度と来年度の2カ年で事業実施の予定でしたが、原木の市場価格が低価格で推移していることから皆伐事業を一時延期することにしました。

価格は、下げ止まりの傾向もみられ、今後、木材の需給動向によって価格の上昇が期待できることから、事業実施時期を慎重に判断したいと考えております。

6 造林事業等について、平成23年6月定例会以降の発注状況は、次のとおりです。

事業名、請負者、契約額、事業量、工期と読み上げます。

五反沢字沼ノ沢A地区 下刈り事業、佐藤木材、115万5,000円、9.24ha、
工期は23年7月14日～23年8月29日。

五反沢字沼ノ沢B地区 下刈り事業、(有)佐栄林業、164万4,720円、13.21ha、
工期が平成23年7月14日～平成23年8月29日。

仏社字国見沢A地区 除伐事業、(有)中田工業、159万9,150円、9.69ha、
平成23年8月15日～平成23年11月24日。

仏社字国見沢B地区 除伐事業、大館北秋田森林組合、103万1,100円、6.40ha、
平成23年8月15日～平成23年11月24日。

仏社字国見沢C地区 除伐事業、田村林業、140万1,750円、8.35ha、平成
23年8月15日～平成23年11月24日まで。

次に建設課関係

1 住宅リホーム緊急支援事業について、村の住宅リホーム緊急支援事業に
ついては、8月22日現在、次のとおりとなっております。これは読み上げませ
んのので、ご覧願いたいと思います。

本事業につきましては、先に専決処分にて200万円の予算追加をしております
が、今後も申請の増加が見込まれるため、100万円の追加補正を計上して
おりますので、よろしく願いいたします。

2 下水道汚泥及び簡易水道水の放射能検査について、震災による東京電力
(株)福島第一原子力発電所の事故により、下水汚泥等から相当程度の放射性
物質が検出されていることに伴い、国から「汚泥肥料中に含まれる放射性セシ
ウム取り扱いについて」考え方が示されました。

本村の公共下水道においても、汚泥の肥料登録をしていることから、適切な
管理措置を講ずるため、放射能検査を実施し、併せて、簡易水道水においても
安全確保の観点から、放射能検査を実施しております。検査物につきましては、
下水道汚泥は沖田面浄化センター、水道水は福館浄水場の2箇所から8月17
日提出しております。

なお、検査結果につきましては検査機関が大変混みあっていることから、時
間がかかるようではありますが、検査が出次第お知らせいたしますので、ご理解
をお願いいたします。

3 次に工事等の発注状況についてであります。

平成23年6月定例会以降の発注状況は、次のとおりです。表を読み上げませ
んのので、ご覧いただきたいと思ひます。

教育委員会関係

総務学校班関係について

(1) 上小阿仁小・中学校における放射線量等測定結果

① 7月11日に秋田県教育委員会が、本村上小阿仁小・中学校グラウンドの放射線量を測定したところ、特に問題はないとの結果がでました。測定結果は次のとおりですので、ご覧いただきたいと思います。

なお、3.8 マイクロシーベルト以下が安全の目安となっており、秋田県全域の通常レベルは、0.022～0.086 マイクロシーベルトの範囲内となっております。

② 高い濃度の放射性セシウムが検出された「腐葉土」や「堆肥」について、上小阿仁小・中学校では使用いたしていません。

(2) 学校給食関係

① 給食センターの冷凍庫が7月8日に故障し、使用不能となりました。業者に整備依頼をしましたが、部品が既になく状況であったため、急遽予備費から予算をいただき、新しい冷凍庫を購入しました。学校給食に影響を与えることなく対応いたしましたので、ご理解をお願いいたします。

② 放射性物質を含む稲わらを餌として与えられた牛の肉が問題になっていますが、本村の給食センターにおける牛肉については、これまで、全て秋田県産の牛肉を使用しています。食材については、地場産のものを中心に取っていますが、今後とも、牛肉については情報を十分に収集し、状況を見ながら慎重に対処していきたいと考えています。また、他の食品についても同様の取り扱いをしていく所存です。

(3) 教育活動関係

① 特色ある教育活動を実践するために、学校支援地域本部事業と連携しながら、地域の人材活用により子供の教育活動の充実を図っております。具体的には、学校支援ボランティアの方々が、正課クラブ、読み聞かせ、かみこあに音頭等の指導を行っております。

② 子供たちの部活動において、目覚ましい活躍がみられました。小学校全県陸上競技大会では、6年生の武石麗末さんがソフトボール投げにおいて好記録で優勝を果たし、8月下旬に神奈川県で行われる全国大会に出場することになりました。

また、中学校全県総体陸上競技では、2・3年1500mに出場した安藤駿君は、2年生ながら3人のデットヒートを制し、見事に優賞することができました。全国標準記録も突破したことから、この後、東北大会（大館市）、全国大会（奈良市）、ジュニアオリンピック（横浜市）に出場することになり、その活躍が大いに期待されております。

さらに、全県陸上競技・砲丸投げの大沢明日香さんは4位となり、東北大会の出場権を得ていますし、小学校全県相撲大会では、6年生の鈴木多工也君が個人準優勝を果たし、これまた東北大会（酒田市）に出場することになりました。

③ 7月6日には、学校における「伝統芸能継承活動」がスタートしました。第1回目の郷土芸能講習会では、保存会の方々を講師に招き、踊りの歴史や実演について指導を受けました。

第2回目以降は、昨年、20数年ぶりに復活した「八木沢番楽」、小沢田の「駒踊り」、大林の「獅子踊り」をグループに分かれて本格的に練習を開始しました。おらがふるさとフェスティバルに出演した後、さらに練習を積み重ね、秋の学校祭において、その成果を地域の方々に発表する予定となっています。

④ 7月28日、29日には、中学校1年生は村内、2・3年生は北秋田市内等で職場体験学習を行い、働くことの喜びや大変さなどを通して、勤労観・職業観などを学びました。

⑤ 小学校4・5年生による宿泊体験学習が、8月3日、4日に八峰町「白神体験センター」で行われました。3日には体験学習の一環として、センター隣のハタハタ館前で、プッチーニ、ボッチャンカボチャ、ペイナス、ミニトマト、ミニキュウリ、食用ほおずきなどの学校農園で収穫した取り立ての村特産野菜を通行人に配りました。また、村や村の特産品、野菜のレスピ等をパンフレットで紹介し、村の良さのPR活動にも努めるなど、コミュニケーション能力を高めようと、4・5年生が協力し合いながら、元気にかがいしく取り組んでいました。

なお、この計画に賛同した産業課では、野外生産試作センターで収穫した特産物を提供し、子供たちの活動を支援してくれました。

2 生涯学習班関係について

(1) 夏季休業中の児童生徒関係の行事

① 夏休み恒例のミステリーツアーは、8月1日に「夏休み体験活動」として村内の文化財巡りを実施しました。8名の参加者は「鎌沢堂川境石」、「相善森の神社」、「仏社沼の怪じゅう」、「板碑」、「七倉城址」の5カ所を巡り、興味を示しながら熱心に担当者の説明に耳を傾けていました。

② 学校支援地域本部の事業として、「夏休み特別学習会」が7月30日、8月6日、8月20日の3回実施されました。子供たちは、ボランティアの皆さんの手伝いを受けながら、暑さに負けず宿題や苦手な課題を克服しようと一生懸命取り組んでいました。

(2) 生涯学習関係の行事

① 7月24日、「第13回かみこあに芸能まつり」が開催されました。今年は12団体、個人66名の方々が出演して、日頃の練習の成果を十分に発揮し、舞台上で熱演しました。当日は、380名を越える多くの村民が集い、出演者の名人芸に観客から盛大な拍手が送られ、大いに盛り上がった芸能まつりとなりました。

② 8月14日には生涯学習センターにおいて、上小阿仁村成人式が挙行されました。今年には28名の方が成人を迎えましたが、22名が出席し、恩師や級友との久しぶりの再会を喜び合いました。また、多くの方々から祝福を受けながら成人としての決意や心構えを新たにしていました。

③ 恒例の地区対抗・お盆野球大会が8月15日、4チームが参加して行われました。お盆に帰省した方々も出場し、各地区の応援にも熱が入るなど、楽しい1日を過ごすことができました。

3 平成22年度の社会教育関係施設の利用状況について

(1) 生涯学習センターは、村民の社会教育・生涯学習施設として、多くの方々に利用されています。平成22年度の利用者は、19,744人で、前年比101人の増となりました。月別では「山野草展」が開催された5月の来館者が最も多く、また、体育協会創立50周年記念式典が行われた11月には来館者が大幅に増加、前年度比1,159人の増となっております。

次に「生涯学習週間」で賑わう10月が続いています。

(2) トレーニングセンター

年度別利用者の推移を見ますと、平成19年度は総合型スポーツクラブ発足に伴い、スポーツに対する村民の関心が高まったこと。そして、さらに平成20年度は公民館主催で行っていたスポーツ関係行事を総合型スポーツクラブに委託し、より幅広い運動ができるように衣替えを行ったことなどから、利用者が年々増加し、20年度には過去最高の利用者数を記録しました。

しかし、平成21年度からは人気のユニカールが活動場所を地域センターに移したことなども影響し、減少に転じています。平成22年度の利用者は13,843人、前年度比3,051人の減となっており、ここ1、2年減少傾向が続いております。

(3) 図書館

平成22年度の利用者は10,780名、前年度比135名増で、内子供は3,019名、前年度比831名の増でした。子供の来館者が大幅に増えていることは望ましい傾向にあるといえます。また貸し出し冊数は、一般書4,513冊、児童書2,365冊、計6,875冊。前年度比394冊の増で、村民1人当たりの年間貸し出し冊数は2.4冊、前年度比0.2冊の増となっています。

なお、本村の図書館は利用者の便に配慮して、開館時間を夜7時までとし、祝祭日と年末年始以外は開館日となっています。このように、週や月ごとの定休日がないことも、本村図書館の特色であると言えます。一方、利用促進を図るために、電話による図書の宅配サービスやボランティアによる読み聞かせ活動も行っています。

(4) 上ノ岱スポーツエリア

上ノ岱スポーツエリアには、夜間照明付きのテニスコート6面とスキー場が設置されています。平成22年度のテニスコート利用者は640名で、村外の中学校、高等学校部活動利用が減ってきている状況にあり、前年度比482名の減となりました。一方、スキー場の利用者は2,106名で、12月の降雪量不足の影響から110名の減となっています。

(5) 地域センター

統計をとって2年目の地域センターの利用状況は、毎週木曜日に行われる総合型スポーツクラブのユニカール教室やコール・せぜらぎの練習、刺し子教室など2,135名、前年度比6名減の利用者がありました。また、パソコン講座においては、前年度の初級講座に加えて8月から中級講座を開設したこともあって、8月の利用者が増加しました。

なお、このこの統計には、放課後児童クラブ、みんなの茶の間、小学生の部活動とプール利用者は含まれておりません。

(6) 若者センター

沖田面集落には施設の指定管理をお願いしている若者センターの利用者については、利用件数が374件、利用者数が3,573人となっております。

国保診療所関係

4月から7月までの診療状況は、医科は1日平均64人で、ほぼ前年並みで推移しており、歯科についても1日平均11人で、ほぼ前年並みとなっております。また、6月の医科の1日平均患者数は、前年同月に比較して減少しましたが、7月は前年同月に比較して増加しております。

今年6月から伊尻先生を診療所長にお迎えして3カ月を経過しましたが、伊尻先生には献身的かつ精力的に診療に当たっていただき、村民になりかわりまして衷心より感謝申し上げます。

今後とも、村唯一の医療機関として運営に努力してまいりますので、ご理解をお願いいたします。

次に杉風荘関係を申し上げます。

利用者の熱中症を防ぐために、22年度からの繰り越し事業でありますエアコンを7月22日にホールに2台設置し、暑さ対策を行っております。また、消防法の改正によりスプリンクラーなどの設置基準が強化され、24年3月末までに設置しなければならないことから、スプリンクラーの設置工事が進められております。この工事につきましても、繰り越し事業で、工事につきましてもは6月2日に着手し11月を目途に進められております。

自家発電機につきましても、国の予算が確定していないため、国の予算が確定次第補正予算で対応したいと考えております。

今年の杉風荘敬老会は、9月15日開催を予定しております。75歳以上が76

名で、その内 90 歳以上が 27 名となっております。

入所されておられる皆さまが、穏やかに過ごせますようお願いしております。

行政報告追加分でございます。

総務課関係、市町村運営有償運送の更新について、村では五城目間のバス路線に伴う交通空白と外出支援サービス、2つの市町村有償運送事業を実施しておりますが、自家用有償運送旅客運送の有効期間が9月30日で終了することから、去る8月26日に上小阿仁村地域公共交通会議を開催し、更新登録について合意にいたっております。現在、秋田運輸支局の指導をいただきながら、申請手続きを進めているところでありますが、関係機関並びに議会と相談しながら、地域住民の利便性の向上を図ってまいりたいと考えております。

以上でございます。

○議長（武石善治） これで行政報告を終わります。